

令和7年度第2回 金沢シビックテック推進協議会 会議概要

日時 : 令和8年3月6日(金) 14:00~15:30

場所 : 金沢市役所第一本庁舎 第1委員会室

出席者 : 茂 知一 一般社団法人石川県情報システム工業会 理事
鶴山 雄一 金沢市PTA協議会 会長
福島 健一郎 一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事
松井 くにお 金沢工業大学工学部情報工学科 教授
矢後 智子 NPO 法人ネットワークアシストたかおか 副理事長
山口 いづみ NPO 法人あかりプロジェクト 代表理事
(五十音順)

事務局 南市民局長、山田市民協働推進課長、水野係長、富岡主任

1.次第

報告第1号 令和7年度 事業執行状況

議案第1号 令和8年度 事業執行予定 …… 全会一致ですべて承認された

その他事項 その他事業の執行状況と予定

2.委員意見等

報告第1号 令和7年度 事業執行状況

【委員】

オープンデータデーでのワークショップはどのような内容だったのか。

【事務局】

金沢ミュージアム+（プラス）で公開されている中村記念美術館所蔵の盆について、3D データを美術館より提供いただき、3D プリントしたものを参加者に配布して、アクリルペンで着色してもらった体験を行った。

【委員】

漁業ハッカソンについて、大変多くの参加があったが、なぜここまでの集客につながったのか。

【事務局】

金沢といえばさまざまな海産物、特に観光客の方などはそれを目的に来ていただく方も多いため、そのテーマ設定がその時期的な部分と重なり、はいおそらく多く参加いただけたと考えている。市内県内だけでなく、東京、大阪などからも、何チームか参加予定である。

【委員】

写真を見るとさまざまな層が参加しているが、年齢層でいうとどのような層が多いのか。

【事務局】

一番若い方で、プログラミングスクールの生徒の小学生チームで、大学生のチームも多く、上はベテランのエンジニアの方と、幅広い年齢の方の参加があった。

【委員】

ハッカソンは特に最近の流行となっており、どのようなテーマで開催しても人気がある。

本日の報告にあったように、マッチ箱の地域課題解決はひとつも応募がなかったのに対して、ハッカソンのような、ある意味「攻めの事業」で行くと人が集まっている。金沢工業大学内でも開催することがあるが、どれも盛況となっている。今回、タイムリーなテーマであったこともあるが、ハッカソンが世の中のトレンドとして受け入れられているので、これからもこのような攻めの事業を積極的に取り入れていくことはよいと思う。

【会長】

ハッカソンについては、今年、栃木県や東京都で開催した際にも全国からたくさん集まっていた。コロナ禍もあって一旦落ち着いていたが、最近は特に流行っていると感じる。

【委員】

クマ対策のハッカソンでも素晴らしいアイデアが出て、メディアでも取り上げられたとのことだが、そこで出たアイデアの開催後のフォローは行っているのか。

【事務局】

審査員賞を取った参加者で、その方のお勤め先の企業で商品化しようとプロジェクトが立ち上がった。その商品化のために、金沢市や石川県の森林関係の部署へヒアリングしたいとの参加者からの依頼を事務局で受けて、関係部署にお繋ぎしたということがあった。このようにチームから要望があれば、行政の立場でできるだけサポートを行いたいと考えている。

【委員】

せっかく面白いアイデアが出てきている中で開催して終わりではなく、そのように開催後のフォローを県や市で行えるともっと盛り上がるのではないかなと思う。

議案第 1 号 令和 8 年度 事業執行予定

【委員】

ハッカソンと出てきたアイデアの有効活用の方法について、金沢市で 2019 年頃に「市民生活 A I 技術等活用促進事業」をやっていただき、コード化点字ブロックを採用していただき、事業として今も継続している。プロジェクトを進める上で、やはり最初はどうしてもお金が必要になってくる。せっかく出たアイデアをお金がなくて終わらせてしまうともったいないので、可能なら金沢市の何かしらの助成事業とタイアップするような形で結びつけて、まだ事業化を進めていくようなことは考えられないか。

【事務局】

市民協働推進課でも「協働のまちづくりチャレンジ事業」として、市民が考えた企画を市の委託事業として委託金を支払って進めてもらうという制度もある。このような市の支援事業はほかにもあるので、ハッカソンで紹介するほか、可能な限りのサポートを行っていきたいと考えている。

また、議案の中で説明した、地域課題解決プロジェクト事業については休止とする提案をしたが、そのような有効なアイデア、プロジェクトが生まれた際には、この制度を有効活用したいと考えている。

【委員】

できれば、以前の促進事業のように 1 事業に対して数百万円のような支援ができると、プロジェクトを立ち上げてもらうきっかけになると思うので、考えていただきたい。

【会長】

ハッカソンは参加者のモチベーション、動機というものがいろいろあり、特にこういう地域課題解決系のハッカソンとなると、市民団体のような方が参加したり地域課題がビジネスになるとスタートアップ企業寄りの方がいたり、さまざまな方が参加される可能性がある。チームでゴールをどのように考えるかにもよるが、市民団体に考える内容は、例えば産業政策課で行うような起業につながるまでいくのはなかなか難しい。そういった意味で、ビジネスよりの支援に限定せずに、市民団体のような方もやりたいことができるような、さまざまな入り口や支援を用意しておくほうがよいと思う。

実際、先ほど話に挙げた栃木県の事業の場合、5 万円のみだが、市民団体の方にとっては経費が払えるからやってみようと思ってもらえる。参加者によっていろいろな切り口もあるため、金沢市としてもさまざまな補助金や助成金を行っているのであれば、うまく組み合わせてご案内できると、参加者や応募率はさらに上がるかもしれない。

【委員】

情報発信事業について、客観的に見て、このシビックテック活動に参加される方はもともと関心を寄せる方や目的を持っている方がほとんどだと理解している。その点で、このハッカソンの事業がどのように社会生活にプラスの影響をもたらすのか、波及効果を及ぼすことができるのか、情報発信の方法も含めて課題が残っていると感じる。

【事務局】

地域課題解決型ハッカソンについては、おっしゃるとおり開催後の波及効果も重要と考えている。今回の漁業ハッカソンにあたっては、漁業組合や卸業者、地域の魚屋さんなども見に来ていただいた。ハッカソンに参加するエンジニアの方だけでなく、実際にその課題に関係する方をうまく巻き込みながら開催できると、地域課題の解像度も上がり、よりよいプロジェクトが生まれるというところが考えられるので、やはり取り上げるテーマに合わせて、情報発信のターゲットを意識しながら進めていく必要があると考えている。

【委員】

福井県では、大学生や高校生が地域課題に取組み、企業の出資でプロジェクトを進めるようなケースもある。そのような広がりも仕掛けることができるとよい。

【会長】

福井県のように企業がお金を出して市民とともに地域課題に取り組むといった意識が石川県、金沢市でちゃんと育つのかと思う。そのような企業側の意識が福井県とは違うように感じるので、そこを協議会で後押しできたとよいと思う。

【委員】

今の話とも少し通じるが、IT 関係に興味がある方を対象として盛り上げていこうというものなのか、もしくは、もしくは IT に興味がない一般の市民の老若男女を対象としてその裾野を広げていくのか、この協議会の目的や対象はどのように考えているのか。

【事務局】

この事業を市民協働推進課で所管しているという意味でも、やはり、一般的なハッカソンを主催する団体と異なり、デジタル分野に興味がない方でも取り上げたテーマに興味がある方にも参加していただくことで、金沢市におけるシビックテック活動の裾野も広がっていくか考えているため、おっしゃられた後者の通りやはり専門的な方だけでなく、いろいろな分野、属性を持った市民の方に、この事業に参加してもらえるように事業を進めていきたいと考えている。

その他事項 その他事業の執行状況と予定

【委員】

シビックテックミーティングについて、この27名という参加者数は、障害をテーマにしたイベントにしては多く集客できていると感じたが、どのような方の参加が多かったのか。もう1つ、これをきっかけに障害を持つ方の介助に取り組んでもらおうというような行動喚起はあったのか。

【事務局】

参加者層として、いつものと異なり、盲学校の職員や実際に聴覚障害の当事者の方も来ていただいた。シビックテック関係の方もあったが、今回は特に障害に関係する方の参加が多かったと感じる。

介助の行動喚起については、「Be My Eyes」というスマートフォンのアプリを紹介した。視覚障害の方のサポートを手軽に行うためのツールとして、実際に視覚障害の方の声を聞きながら体験してもらうことができたため、ボランティア活動をしてもらうためのきっかけを作ることができたと考えている。

令和7年度 第2回
金沢シビックテック推進協議会

日時 令和8年3月6日(金) 14:00~15:30

場所 金沢市役所第一本庁舎 第1委員会室

会議次第

1. 開会

2. 報告事項 ●——● **報告第1号** 令和7年度 事業執行状況

3. 審議事項 ●——● **議案第1号** 令和8年度 事業執行予定

4. その他事項 ●————● その他事業の執行状況と予定

5. 閉会

委員名簿

区分	氏名	役職	出欠
委員	小俣 博司	オープン川崎 代表	欠席
委員	茂 知一	一般社団法人石川県情報システム工業会 理事	出席
委員	鶴山 雄一	金沢市PTA協議会 会長	出席
会長	福島 健一郎	一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事	出席
委員	松井 くにお	金沢工業大学工学部情報工学科 教授	出席
委員	眞鍋 知子	金沢大学 融合研究域 融合科学系 教授	欠席
委員	矢後 智子	NPO法人ネットワークアシストたかおか 副理事長	出席 (オンライン)
委員	山口 いづみ	NPO法人あかりプロジェクト 代表理事	出席 (オンライン)

(五十音順、敬称略)



報告事項



報告第1号

令和7年度 事業執行状況

1. 地域課題解決プロジェクト事業
2. シビックテックスクール開催事業
3. データを活用した地域課題解決推進事業
4. 情報発信事業

1.地域課題解決プロジェクト事業

- 課題募集期間：令和7年5月22日（木）～10月31日（金）
- 企画募集期間：令和7年11月1日（土）～1月31日（土）
- 内容：生活の中でのお困りごと等、地域課題を地域課題マッチングボックス「マッチ箱」に投稿してもらう

募集結果：0件

(考えられる要因)

- 本支援事業の周知不足。
- 「マッチ箱」自体の周知不足もあり、地域課題収集がうまく機能しなかった。



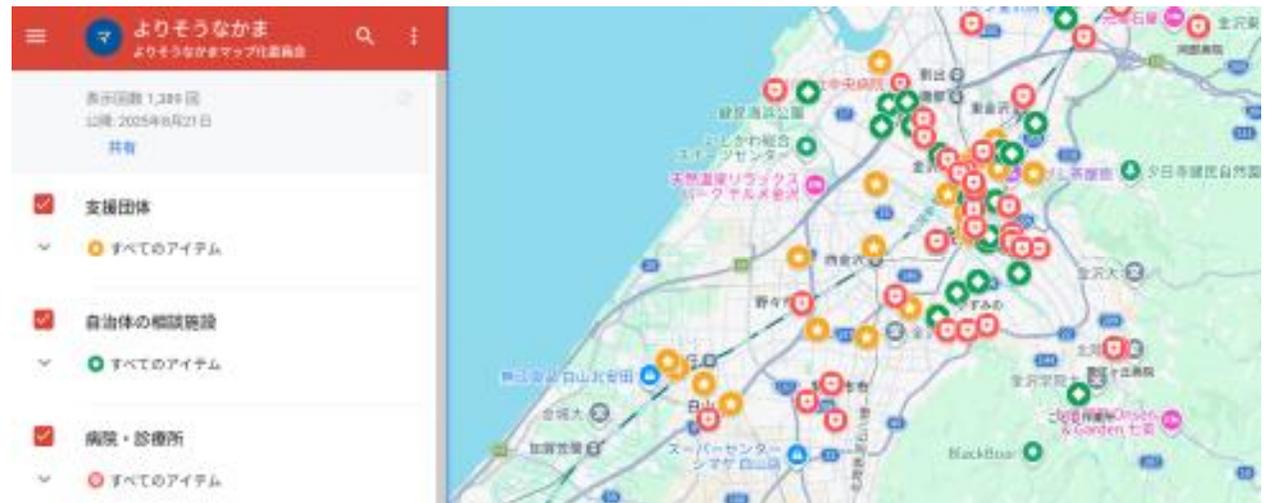
1.地域課題解決プロジェクト事業

令和6年度支援プロジェクト進捗状況 「よりそうなかまの冊子の見える化」

- Googleマイマップ機能を利用した公開マップの開発が完了

<https://www.google.com/maps/d/u/0/viewer?mid=106GULwWaQLJNdCG28XKtxTbpbe1CxAw&ll=36.56756718597549%2C136.64398590000002&z=11>

- 支援団体だけでなく、自治体の相談機関、病院・診療所（心療科中心）の情報を集約
- 「よりそうなかま」ポータルサイト (<https://yorisou-nakama.net/>) へ掲載予定（令和8年4月～）
- サービスの継続に向けて、同サイトの委託業者へ開発データの引継を行い、今後の運用・更新を市から委託予定。
（令和8年4月～）



2.シビックテックスクール開催事業

開催概要

- 開催日時：令和7年10月18日(土)、11月1日(土)
14:00-16:30 (全2回)
- 開催場所：石川県地場産業振興センター
- 参加人数：第1回 14名、第2回 16名

日程	内容
第1回	<ul style="list-style-type: none">• Canvaでチラシ作成• Googleフォーム作成• 二次元コード作成、チラシ完成• LINE オープンチャットで共有
第2回	<ul style="list-style-type: none">• 生成AI、ChatGPTの概要説明• ハンズオン体験• グループワーク• プロンプトのコツ• その他生成AIの紹介



先着 **20**名 参加 **無料**

シビックテックスクール2025

広報×AI

～地域活動を加速する最新AI～

町会、市民団体、青友会など
団体活動で活用できる生成AI、
デザインツールをゼロから学ぶ
ChatGPT・Canva...

Code for Kanazawa
雄谷 峰志 × 佐々木 修吾

2025. **10.18** ± + **11.1** ± **2**日間
14:00 - 16:30 **集中講座**

石川県地場産業振興センター
明部3階 第6会議室

お問い合わせ シビックテックとは? お申込みはこちら

会派シビックテック推進協議会
金沢市市民協働推進課内
MAIL: kyoedoo@city.kanazawa.lg.jp
TEL: 076-239-2026

Date (時限) © Task (タスクロー) を
かき合わせた講座。
行商サービスだけでは解決が難しい
地域のみまごまな課題をいかに活用して
形見みんなで解決していく活動。



2.シビックテックスクール開催事業



3.データを活用した地域課題解決推進事業

開催実績

① オープンデータデイいしかわ2026

令和8年2月28日開催、18名参加

② クマ×共生ハッカソン

令和7年7月26日～9月27日開催、Day1 41名・Day2 41名参加

③ Fish×Techハッカソン

令和8年1月24日～3月15日開催（予定）、Day1 70名参加

前年度からの変更点

- 「オープンデータデイ」イベントとは別に、ハッカソンを初開催。より専門的知識の高いエンジニアや情報系の学生などに向けてデータ活用やシビックテック活動を周知できる。
- 一般的なハッカソンと異なり、本市における具体的な地域課題解決につながるテーマを設定することで、地域課題について考えてもらうきっかけとするほか、シビックテック活動への関心を高めてもらう。



3.データを活用した地域課題解決推進事業

① オープンデータデイいしかわ2026

- 共催 : Code for Kanazawa (後援: 石川県)
- 開催日時 : 令和8年2月28日(土)
(※3月第一週を中心とした世界的な「オープンデータデイ」にあわせて開催)
- 開催場所 : 金沢未来のまち創造館 多目的室2
- 参加者 : 18名 (学芸員、エンジニア、行政職員など)

前年度からの変更点

- 文化芸術をテーマとしたことで、学芸員など新たな層の参加があった。
- 画像オープンデータや「OPEN GLAM」を取り上げたことで、これまでとは違う視点でのデータ活用の可能性を啓発することができた。



3. データを活用した地域課題解決推進事業

① オープンデータデイいしかわ2026



13:30-13:05	オープニング
13:35-14:05	講演「オープンデータと文化芸術 — OpenGLAMの可能性」 福島 健一郎 Code for Kanazawa 代表理事
14:05-14:35	講演「デジタルアーカイブ時代の文化資産活用」 金丸 義勝 株式会社A440 代表取締役
14:35-14:55	グループディスカッション
14:55-15:05	< 休憩 >
15:05-15:50	金沢ミュージアム紹介 / ワークショップ
15:50-16:00	クロージング



3.データを活用した地域課題解決推進事業

② クマ×共生ハッカソン

- ・ 共催 : 石川県デジタル推進監室（共助のビジネスモデル検討協議会）
- ・ 開催日時 : 令和7年7月26日（土）・9月26日（土）各13:30-17:00
- ・ 開催場所 : 石川県地場産業振興センター
- ・ 参加者 : Day1 41名、Day2 41名
- ・ 発表者 : 8チーム、10プロダクト



3.データを活用した地域課題解決推進事業

③ Fish×Tech ハッカソン

- 共催 : 石川県デジタル推進監室（共助のビジネスモデル検討協議会）
- 開催日時 : 令和8年1月24日（土）～ 3月15日（日）各13:00-17:00
- 開催場所 : Day1 ITビジネスプラザ武蔵、Day2 石川県地場産業振興センター
- 参加者 : Day1 70名 ・ Day2発表者 : 22チーム（予定）
- アーカイブ動画 : Day1 https://www.youtube.com/watch?v=thfYzhD_92o



3. データを活用した地域課題解決推進事業

③ Fish×Tech ハッカソン



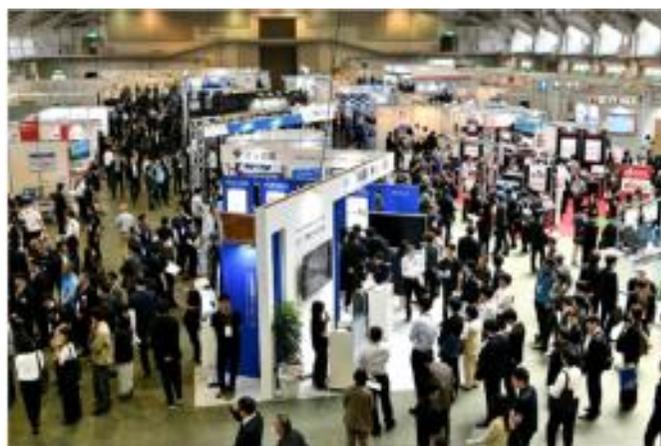
4.情報発信事業

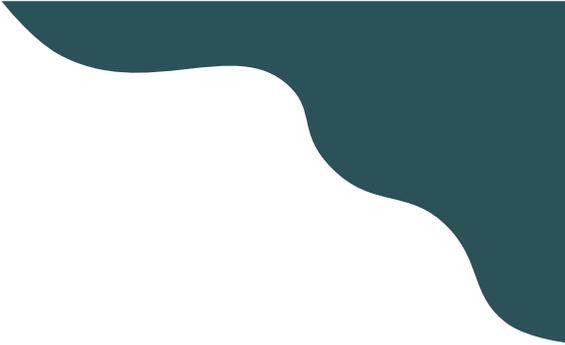
e-messe Kanazawa ブース出展

石川県産業展示館で開催されるイベント（来場者1万人超）初出展

- ①シビックテック活動、協議会事業の紹介（パンフレット等配布）
- ②シビックテックミーティングカナザワの紹介（アーカイブ動画放映）
- ③リニューアル版マッチ箱のデモ（PCで画面デモ、チラシ配布）

2日間にわたりブース出展。名刺交換までできたブース来場者は50名超程度に留まったが、開催後のイベントへの集客にも一定の効果はあった。





審議事項



議案第1号

令和8年度 事業執行予定

1. 地域課題解決プロジェクト事業
→ 地域課題解決型ハッカソン開催事業
2. シビックテックスクール開催事業
3. データを活用した地域課題解決推進事業
4. 情報発信事業

事業執行予定（案）

第3期においては、主要事業である「地域課題解決プロジェクト事業」の見直しを行いたい。

第1期

令和2～4年度

- ・地域課題マッチング事業
- ・人材育成事業
- ・オープンデータ拡充事業
- ・情報発信事業

第2期

令和5～7年度

- ・地域課題解決プロジェクト事業
- ・シビックテックスクール
- ・データを活用した課題解決推進事業
- ・情報発信等事業

第3期

令和8～10年度

- ・地域課題解決型ハッカソン
- ・シビックテックスクール
- ・オープンデータデイ
- ・情報発信等事業

+

シビックテック
ミーティング

1.地域課題解決プロジェクト事業（休止）

地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」上で市民や団体、企業等の様々な主体が、地域課題の共有と解決に向けたディスカッションを行う。

解決に向けた協働が可能な場合は、希望者で「プロジェクトチーム」を結成して取り組む。

課題

- 投稿された課題に対して議論が深まるケースが少ない
 - マッチ箱への投稿件数が少なく、提出される企画数が少ない
(R4:3件、R5:0件、R6:2件、R7:0件)
 - 支援を受けて開発されたプロダクトを維持することが難しい
- ▶ 地域課題解決に取り組んでもらうきっかけ、機運醸成に取り組むべき。
→「地域課題解決型ハッカソン開催事業」へ事業変更



1.地域課題解決型ハッカソン開催事業（新規）

令和8年度執行予定

具体的な地域課題をテーマとしたハッカソンを定期開催することにより、市民・技術者・行政などの主体的な参加と協働を促し、単なるアイデア出しにとどまらない成果を生み出し、継続的な活動および社会実装へと発展させる仕組みづくりを行う。

→年2回程度 石川県と共同で開催

期待される効果

- **多様な参加者の獲得:** 課題発見から開発まで一貫して取り組むことで、技術者だけでなく、地域の専門家など、多様な人材の参加を促す。
- **市民の主体性向上:** 市民自身が地域の課題解決に主体的に関わることで、本市におけるシビックテック人材の裾野を広げる。



令和7年度 クマ共生ハッカソン

1.地域課題解決型ハッカソン開催事業（新規）

(3) 官民共創型イベントの実施

金沢市主催で社会課題解決型のアイデアソンやハッカソンを開催し、そこに民間の人だけでなく、市役所職員も積極的に参加する

そうすることで、市役所職員と市民や企業、NPOの人たちが一つのチームを作り、同じ目線で課題を考えることができる

「地域の課題はその地域に住むみんなで考え、それぞれの役割で協力して力を発揮し、全員で解決していくこと」だという当たり前のことをイベントを通じて誰もが学んでいくができる

そして、金沢市全体で共創の意識が変わっていくことになる

成果はオープンに公開していくほか、成果をCode for Kanazawaなどの民間団体に移譲することで、ハッカソン参加者も団体の場で継続していくことが可能になる

R8年度から年に一回、ハッカソンを開催、推進していく

2.シビックテックスクール開催事業

ICTを活用した地域課題解決に興味を持つ方を対象に、ノーコードツールを活用したアプリ等の開発や、Googleアプリケーション等の活用に関する講座を開催することで、地域課題を自ら解決できる人材を育成する。

課題

- ・ イベント参加者の固定化
- ・ ツール活用を学ぶだけでは、具体的な地域課題解決まで繋がりにくい

令和8年度執行予定

- ・ より実践的な学習（講座回数の増 2回→3回程度）
- ・ 市事業「市民活動DX推進事業」の廃止に伴う、市民向け講座としての役割の強化



令和7年度募集チラシ

3.オープンデータ日開催事業

市民や市民団体等が、自らの課題解決に生かすため、データの収集や活用方法など、データの基礎について学ぶワークショップを主としたイベントとして「オープンデータ日」を開催する

課題

新たな層へのリーチ、参加者増加



令和7年度募集チラシ

3.オープンデータデイ開催事業

令和8年度執行予定

- ・「オープンデータデイ」（3月第一週）にあわせたイベントを継続する
- ・データの「活用」を重視し、ハンズオンを含めたより実践的なデータ活用を学べる内容とする。

参考：過去開催内容

令和2～4年度	「オープンデータラウンドテーブル」	市民や企業等と行政が集まり、データ公開に向けた議論を行う
令和5年度	「市民のためのデータ活用講座」	BIツール「Tableau」によるデータ活用体験
令和6年度	「オープンデータデイいしかわ」	データ活用講演、オープンデータを活用したGoogleマップ制作体験
令和7年度	「オープンデータデイいしかわ」	金沢ミュージアム ⁺ 、画像オープンデータ紹介、活用ワークショップ

4.情報発信事業

シビックテック及び当協議会の事業について発信を行い、市民へのシビックテックの浸透を図る。

課題

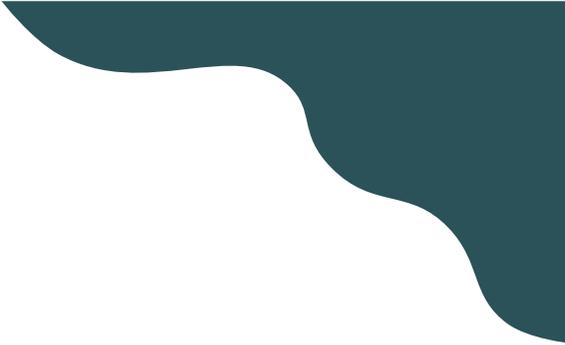
- ポータルサイトのページビュー数が伸び悩んでいる
- Facebookのフォロワー数等が伸び悩んでいる
- デジタル関係に馴染みがない方々へ周知する手段が限られている



4.情報発信事業

令和8年度執行予定

- 市民へのシビックテック活動のさらなる普及啓発のため、SNS等による広報強化について検討を行う。
（例：関連イベントでのさらなる活動周知、SNS等での有料広告の掲載など）



その他事項



その他事業の執行状況と予定

※ 協議会事業以外の関連する市主催事業

1. シビックテックミーティングの開催
2. 地域課題解決プラットフォーム「マッチ箱」の運用

1.シビックテックミーティングの開催

地域の市民や団体等を主な対象とし、シビックテックに取り組む方々や興味がある方々と、地域課題を持つ方々が実際に顔をあわせ、協働につなげるためのイベントを開催する。

令和7年度 開催結果

テーマ：見えない世界+シビックテック

開催日時：2025年11月15日(土)13:00~16:00

開催場所：金沢未来のまち創造館 多目的室1

参加者数：27名

The image shows two promotional posters for the CivicTech Meeting KANAZAWA 2025. The left poster is the main event poster, featuring a white cane icon and the text '見えない世界 + シビックテック' and '視覚障害のリアルを知る、体験する'. It includes the date '2025年11月15日' and time '13:00-16:00'. The right poster is a detailed agenda for the event, listing various activities and speakers. The agenda includes a welcome message, a presentation by a speaker, a panel discussion, a Q&A session, and a networking event. The agenda also includes a QR code for registration and contact information for the event.

令和7年度募集チラシ

1.シビックテックミーティングの開催

令和7年度 開催結果



1.シビックテックミーティングの開催

課題

イベント参加者のさらなる増加

令和8年度執行予定

引き続き、地域の市民や団体等を主な対象としたシビックテック普及啓発イベントの開催について、取り上げるテーマなどの検討を行う。

2.地域課題解決プラットフォーム「マッチ箱」の運用

地域課題の解決に向けて、市民や団体等がディスカッションを行い、解決に向けた協働を行うためのプラットフォームとして運用を継続する。

令和7年度 事業執行状況

- 令和7年5月 一部機能改善（ステータス機能追加、検索性向上等）
- 過去1年間の投稿件数：15件（課題以外を含む）
- 登録者数：224名（令和8年3月2日時点）

課題

- 課題の投稿件数が少ない
- 投稿された課題に対して議論が深まるケースが少なく、解決に向けた協働まで結びつきにくい



マッチ箱 ウェブサイト（リニューアル後）

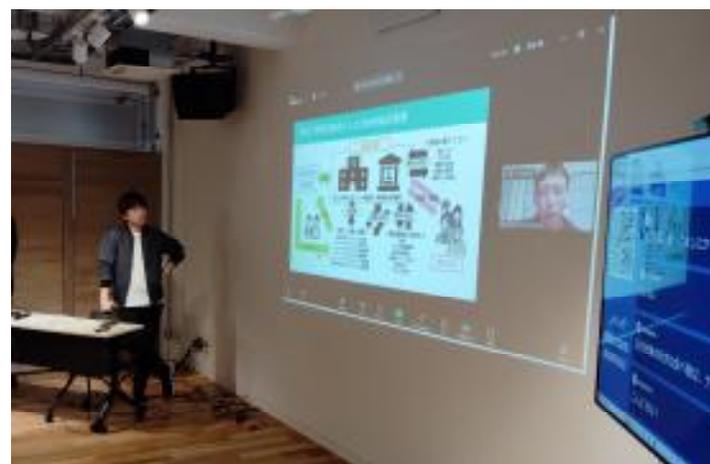
2.地域課題解決プラットフォーム「マッチ箱」の運用

令和8年度執行予定

- ・引き続き運用を継続するとともに、オフラインを併用した交流や周知の強化について検討を行う。
- ・活用のシチュエーションを例示するとともに使い方のさらなる周知を行う。



令和6年度 マッチ箱交流会
(シビックテックミーティングの中で開催)



マッチ箱の課題投稿者が課題について発表
参加者との意見交換を行った

